

第9回京都環境賞受賞者について

(2)「特別賞」(市民活動賞)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000113430.html>

受賞者 西京極大門ハイツ管理組合法人(にしきょうごくだいもんはいつかんりくみあいほうじん)

代表者 理事長 山口 隆康(やまぐち たかやす)

所在地 京都市右京区西京極大門町21番地

テーマ 無理せず無駄を省いてマンションで取り組む省電力/温暖化対策

選定理由

同法人は、昭和51年の分譲時から管理組合を設立し、マンション住民も市民として、「地球温暖化対策の一端を担うこと」を理念に、全住民の賛同を得て、生活のレベルを落とさず、無理なく無駄を省きながら省エネ・温暖化対策に貢献できる設備改修に、積極的に取り組んでおり、環境保全に対する意識が非常に高い。合意形成が難しいマンションの課題を克服し、35年にわたる息の長い取組を実践している。この住民一体となった取組がモデルとなり他地域への広がりを期待し、市民活動賞として選定された。

また具体的な取り組みとしては、会場にパネルが貼り出されていてその内容は下記の5項目でした。

- ①廊下灯や外灯をLEDに切り替え
- ②給水加圧式の変更による電気使用量の削減
- ③屋上換気扇のインバーター調整による使用電力量の削減
- ④全戸の窓ガラスを断熱性の高い真空ガラス、スペーシアに交換
- ⑤高圧電力一括契約

《レセプション会場》



《山口理事長と佐藤理事》

